

## 令和元年度老人保健健康増進等事業

## ＜在宅における看取りの推進に関する調査研究事業＞

＜株式会社日本能率協会総合研究所＞

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」（平成30年3月改訂）では、心身の状態変化等に応じて、本人の意思は変化するものであり、医療・ケアの方針や、どのような生き方を望むか等を日頃から繰り返し話し合うことの重要性を強調している。また、繰り返し話し合った内容をその都度、文書にまとめておき、本人・家族等と医療・ケアチームで共有することの重要性についても記載している。

しかしながら、このプロセスは時間がかかることや関係者の理解をさらに深める必要があるなどの様々な事情から、本人やご家族、関係者が満足するように取り組むことは容易ではない。特に居宅においては、関わる専門職者の多さから調整がより複雑多様となることから、ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス。愛称：人生会議）を普及する現段階においては、望ましいと考えられるプロセスを踏んだケースを広く収集・普及させることが必要といえる。

本事業では、在宅で人生の最終段階を迎える本人への医療・ケアの実態、家族（遺族）や関係者の満足度等を調査し、本人の希望やケア決定のプロセス、多職種の間わりについて明らかにするとともに、人生の最終段階における意思決定支援に関する事例を収集し、事例集を作成した。

## （事業概要）

上記の目的を達成するため、本事業では有識者、実務関係者等の8名で構成する検討委員会を設置し、各調査の設計・結果分析・とりまとめについて検討を行うことで、一連の業務を円滑かつ効果的に進めた。具体的には、以下の4項目について取り組んだ。

## ■事業項目

<b>1. 検討委員会の設置・運営</b>	4回開催（第1回検討委員会前に、事前説明を実施）
<b>2. アンケート調査の実施</b>	人生の最終段階における意思決定支援の取組実態及び取り組む上での課題を明らかにし、在宅におけるACPの推進に向けた基礎資料とすることを目的に、下記に対しアンケート調査を実施した。 ①在宅療養支援病院 ②在宅療養支援診療所 ③訪問看護事業所 ④居宅介護支援事業所 ⑤訪問介護事業所
<b>3. ヒアリング調査の実施</b>	在宅における人生の最終段階における意思決定支援の事例について、本人の希望やケア決定のプロセス、多職種の関わりを明らかにすることを目的に、下記のとおりヒアリング調査を実施した。 ・委員推薦、文献調査を基に、全国から事例候補を抽出し、疾患等を踏まえて15事例を選定 ・選定した15事例について、医療・介護従事者を対象とするヒアリング調査を実施（うち、3事例は遺族インタビューも実施）
<b>4. 事例集の作成</b>	ヒアリング調査を実施した事例をとりまとめ、医療・介護従事者を主な読み手の対象とする事例集を作成した。事例集には、委員執筆のコラムも掲載した。